

平成 23 年度土木学会東北支部技術研究発表会で当センターのメンバーが研究発表を行いました(2012/3/3)

3月3日(土)、秋田大学手形キャンパス(秋田市)で「平成23年度土木学会東北支部技術研究発表会」が開催されました。同研究発表会は、土木学会の東北支部が主催しているもので、年に1回開催されています。当センターからは、11件の研究発表を行いました。各発表者の題目は次の通りです：

研究発表題目

大川流域における洪水予測精度の検討(○押切祐哉, 真野明, 有働恵子)

ポリピア Tuni 湖集水域での蒸発量の推定(○白鳥総一郎, 真野明, 朝岡良浩, 有働恵子)

Developing an Integrated Tsunami and Agent Based Evacuation Simulator (統合エージェント避難シミュレーションの開発, ○Erick MAS, Fumihiko IMAMURA, Shunichi KOSHIMURA)

避難意思決定モデルを導入した津波避難シミュレーションモデルの検討(○宇川弘朗, 今村文彦, 越村俊一, 河野達仁)

東北地方太平洋沖地震津波による気仙沼湾における大型船舶の漂流挙動解析(○菅裕介, 越村俊一)

東日本大震災における沿岸鉄道での車両被害(○島村宗一郎, 今村文彦, 阿部郁男)

リモートセンシングによる津波被災地の瓦礫量の把握(○福岡巧巳, 越村俊一)

2011年東北地方太平洋沖地震津波における直下視・斜め視空中写真による家屋被害の検討(○郷右近英臣, 越村俊一)

Tsunami-Deck: an Introduction Concept for a new Type of Tsunami Vertical evacuation shelter (津波デッキ：津波からの鉛直避難の新しい形の提案, ○Abdul MUHARI, Shunichi KOSHIMURA, Fumihiko IMAMURA)

Damage characteristic of the 2011 Great East Japan tsunami in Miyagi prefecture (宮城県における2011年東日本大震災の津波被害特性, ○Anwat SUPPASRI, Shunichi KOSHIMURA, Fumihiko IMAMURA)

映像解析による2011年東北地方太平洋沖地震津波の流速測定と数値解析(○林里美, 越村俊一)

沿岸巨礫群を用いた奄美大島あやまる岬に來襲した津波規模の検討(○須田陽介, 後藤和久, 今村文彦)

痕跡調査と数値計算に基づく1771年明和大津波の波源推定(○宮澤啓太郎, 後藤和久, 今村文彦)

並木の漂流物捕捉機能に関する基礎的検討(○林晃大, 今井健太郎, 今村文彦)

東北地方太平洋沖地震津波における遡上距離と津波堆積物分布域の数値的検討(○堀川亮祐, 後藤和久, 今村文彦)

東日本大震災における震災復興計画の市町村間比較分析(○佐藤翔輔, 今村文彦)